

平成 21 年度 館山市放課後子ども教室実施報告

1 事業の目的

- ・ 館山市内の小学校区において、主に木曜日の放課後、小学校の施設を活用して、地域の方々の参画を得て、子ども達に勉強やスポーツ・文化活動・遊びを実施し、豊かな体験の場づくりを推進する。
- ・ 地域の人や異学年との交流の場とし、子どもの社会性を育てる。

2 事業概要

- ・ 館山市が、館山市放課後子ども教室実行委員会と委託契約をして、9小学校区で実施。

教室名	活動場所	活動状況	構成員	参加児童数
北条放課後子ども教室	パソコン教室	開催日：毎週木・金曜日 時間：15時15分～17時の中で 1時間30分程度 年間：29日(32回)開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 登録スタッフ36名	21.0人 (クラスを対象に希望制)
富崎放課後子ども教室	プレイルーム	開催日：毎週木曜日 時間：14時30分～16時30分 (冬季は16時まで) 年間：33日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 登録スタッフ3名	14.8人 (毎回希望制)
神余放課後子ども教室	図書室	開催日：毎週木曜日 時間：15時～16時 年間：33日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 登録スタッフ25名	14.5人 (毎回希望制)
九重放課後子ども教室	図書室	開催日：毎週木曜日 時間：14時45分～16時15分 (冬季は15時45分まで) 年間：24日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 登録スタッフ8名	24.6人 (毎回希望制)
西岬放課後子ども教室	幼稚園プレイルーム	開催日：木曜日 時間：14時30分～16時00分 年間：16日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 登録スタッフ12名	33.9人 (毎回希望制)
那古放課後子ども教室	図書室	開催日：木曜日 時間：15時～16時 年間：19日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 登録スタッフ5名	12.3人 (毎回希望制)
船形放課後子ども教室	図書室	開催日：木曜日 時間：15時～16時 年間：13日(15回)開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 登録スタッフ7名	26.6人 (毎回希望制)
豊房放課後子ども教室	図書室	開催日：木曜日 時間：15時～16時30分 (2・3学期は16時まで) 年間：16日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 登録スタッフ6名	23.8人 (毎回希望制)
館野放課後子ども教室	図工室	開催日：木曜日 時間：15時～16時30分 (冬季は16時まで) 年間：15日開催	学習アドバイザー：1名 安全管理員：2名 登録スタッフ9名	34.0人 (毎回希望制)

3 活動内容

○北条放課後子ども教室

- ・平成16年の地域子ども教室推進事業から実施し、開設6年目。
- ・児童数が798名と多いため、学年を決めてクラスごとにパソコン教室の申し込みをとり、進めている。
- ・NPO 法人南房総 IT 推進協議会の方が学年に応じたカリキュラムで学習アドバイザーを務めている。
- ・保護者、パソコンボランティアが毎回多数協力をしている。
- ・今年度は、6年生を対象に、南房パラダイスで行われていたMRの見学会に参加した。



○富崎放課後子ども教室

- ・教室を開設して3年目。
- ・スタッフ登録者は少人数だが、保護者、保護者OBが協力的に進めている。
- ・内容は、主に自主学習。他に、工作や神余放課後子ども教室と合同で陶芸教室を実施した。
- ・全校児童18名のほとんどが教室に参加し、放課後の学校が子どもの居場所となっている。



○神余放課後子ども教室

- ・平成16年度の地域子ども教室では、パソコン教室として実施しており、開設6年目。
- ・以前から学校・PTA・地域住民で組織している「神余子育て推進委員会」が母体となって事業を実施している。
- ・内容は、自主学習の他、パソコン、外遊び、一輪車等。土日等には、蛍鑑賞会、流しそうめん、陶芸教室、お正月遊び等実施。
- ・全校児童20名の大部分が教室に参加しており、子ども達は多彩な教室を楽しみにしている。



○九重放課後子ども教室

- ・教室を開設して、3年目。
- ・スタッフは、小学校教員OBの方を学習アドバイザーとして進めている。
- ・参加人数が増えてきたため、今年度後半から、第3週を読み聞かせ、第4週を工作とし、他団体等の協力を得て実施してきた。
- ・スタッフ、学校、PTAからなる実行委員会を数多く開き、その都度、教室のあり方について検討を重ねて実施している。



○西岬放課後子ども教室

- ・教室を開設して2年目。一昨年度は、試行的に実施。
- ・スタッフは、保護者や地域住民からなり、毎回教室開催後、ミニ反省会を実施している。
- ・内容は、自主学習、自由遊び。夏休みに竹細工作りを実施。
- ・学区が広く、バス通学の子が多いため、全校児童の半数の子ども達が毎回教室に参加し、放課後の子ども達の居場所になっている。



○那古放課後子ども教室

- ・教室を開設して2年目。
- ・今年度当初、スタッフが1名しかいなかったが、他教室のスタッフの協力でスタートした。その後、保護者のスタッフが集り、教室も定着してきた。
- ・内容は、工作、読み聞かせ、紙芝居、パソコン、スポーツ等。冬休みには、竹ぽっくり作りも実施した。



○船形放課後子ども教室

- ・教室を開設して、2年目。
- ・スタッフは、保護者や地域住民など。
- ・スタッフの得意とするものを生かした教室を実施。理科の実験教室、歴史クラフト、パソコン、読み聞かせ、ドッジボール大会、カード遊び等を実施。
- ・参加者の人数や実施する内容によって、低学年と高学年と別々に開催するようになった。



○豊房放課後子ども教室

- ・教室を開設して、2年目。
- ・スタッフは、地域住民の他、学区外の住民も協力。スタッフに多彩な技術をもった方がいて、実施内容に活かされている。
- ・内容は、前半は自主学習。後半は、パソコン、ドッジボール、折り紙、カルタ・百人一首、割り箸鉄砲作り等。
- ・自主学習の静かな雰囲気。後半の楽しいレク等、メリハリがあり、子ども達は教室を楽しみにしている。



○館野放課後子ども教室

- ・教室を開設して、2年目。
- ・スタッフは、保護者、地域住民の他、学区外の住民も協力。スタッフに、ものづくりが得意な人、スポーツが得意な人がおり、スタッフの個性にあった教室が開かれている。
- ・内容は、自主学習、折り紙、クリスマスカード作り、ドッジボール等。外部サークル団体をお願いして、読み聞かせや人形劇、公民館と共催でマヨネーズ教室等も実施した。
- ・40人を超える参加者となったので、内容によっては学年で分けて実施した。



4 地域とのかかわり

- (1) 学校 活動場所の提供・参加申し込みの取り纏め・日程調整
- (2) PTA 学習アドバイザー・安全管理員・ボランティアスタッフとして事業に参画
- (3) 関係団体 NPO 法人南房総 IT 推進協議会からの講師派遣・技術サポート・機材の提供

5 安全管理対策

- ・スタッフが校内に入る際には学校の事務室に声をかけ、名札の着用を義務付け、不審者等の侵入を防いでいる。
- ・放課後の完全下校時には教室を終了し、明るいうちに帰宅できるよう下校時の安全に配慮している。
(北条放課後子ども教室では、保護者に迎えをお願いしている。)

6 参加方法・費用

- ・学校を通じてチラシ・参加申込書を配布し、学校又はスタッフが取りまとめ指導者に渡している。
- ・参加費用は無料。但し、セット等で個人が使うものや食べ物については、実費負担。

7 参加者の声

(1) 保護者の感想

- ・学校とは違った雰囲気です、お友達と一緒に過ごせた事が楽しかったようです。
- ・毎回、帰宅後、実施した内容・友達との交流を話してくれます。有意義な時間を過ごしているそうです。
- ・いつもいろいろな物を作ったり、校庭でのびのびと遊ばせて下さったり、ありがとうございます。毎回帰ってくるたびに、放課後子ども教室の事を楽しそうに話してくれます。今後も続けてほしいです。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。子どももいつも楽しみにしています。学年の違う子どもとの交流があり、とてもよいと思います。

- ・いつも家に帰ると慌しく、なかなか教える事もできずにいました。この子ども教室の事を知り、子どももやってみたくと自ら進んで言ってきたので、参加させてもらいました。宿題を途中までやってきて家で残りをやったりとできるようになり、うれしく思います。

(2) 子ども達の感想

- ・パソコンは、家では触らせてもらえないので、できてうれしかったです。カード遊びやスポーツも楽しかったです。今度は、もの作りを体験してみたいです。
- ・毎回参加していてどれも楽しいです。これからも、実験やもの作り、スポーツ等、いろいろな事を楽しみながらやっていきたいです。
- ・おじいさんやおばあさんと遊びたいです。老人会の方々とたくさん会いたいです。
- ・あまり話さない人とも話せて、楽しかったです。ドッジボールなどのスポーツをもっとやりたいです。

8 成果と課題

(1) 成果

- ・毎週木曜日の早帰りの日に、子ども達が学校で宿題や遊びができ、放課後の学校施設が子どもの安全・安心な居場所作りになっている。
- ・子ども達が、学習や遊びなどを通して異学年との交流ができ、友達が増え、人間関係能力を育むことができる。
- ・ものづくりや昔の遊び、伝統的な遊び、読み聞かせなどの活動を通して、子ども達が豊かな心を育むことができる。
- ・スタッフ、学校、PTA等が、放課後子ども教室の会合を通して、家庭・学校・地域が一体となって子どもを育てていく意識を高めることができる。
- ・個人や組織のボランティアが、専門的な能力を発揮するよい機会となっており、教室ごとに特色ある活動が展開されている。

(2) 課題

- ・スタッフ、特に学習アドバイザーの確保が難しい。また、保護者がスタッフの場合、子どもが卒業するとボランティア意識が薄れる傾向がある。
- ・スタッフの会議や準備が十分にとれず、継続していくと、内容に行き詰まりがしやすい。
- ・実行委員会に委託しているが、実際には各教室のスタッフが運営しているので、実行委員会が形式化しやすい。
- ・週定例曜日に実施しているため、その日に塾や習い事をしている子どもは参加しにくく、参加者が固定化しやすい。
- ・参加者のとりまとめ、事故時の対処の問題、会合への出席、開催場所の提供など、学校側に今までにない負担がある。